

令和6年2月9日

各 位

会社名 トラスコ中山株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 中山 哲也  
 (コード9830 東証プライム)  
 問合せ先 取締役 経営管理本部 本部長 兼  
 デジタル戦略本部 本部長  
 数見 篤  
 (TEL. 03-3433-9830)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、令和6年2月9日開催の取締役会において、下記のとおり令和5年12月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (令和5年8月10日公表)	前期実績 (令和4年12月期)
基 準 日	令和5年12月31日	同左	令和4年12月31日
1株当たり配当金	23円50銭	同左	23円50銭
配当金総額	1,549百万円	—	1,549百万円
効力発生日	令和6年3月5日	—	令和5年3月3日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理 由

当社は、日本のモノづくりのお役に立つことを目的とした事業活動や設備投資を行い、持続的な成長を果たすことにより、その成果を最大限株主様に還元できると考えています。利益配分につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益を基礎とし、安定配当としての下限を設けた上で、一定の基準を超えた利益が計上された場合、連結配当性向を25%として業績に連動した配当を行うことを基本方針としています。なお、事業活動に直接の関わりのない特殊要因(特別損益)により親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度については、その影響を考慮し、配当額を決定します。なお、決定した1株当たり年間配当金が前事業年度の1株当たり年間配当金を下回る場合、親会社株主に帰属する当期純利益に、該当期の減価償却費の一部(減価償却費×最大10%)をトラスコ善処配当として加算し、連結配当性向を25%として配当を行います。

当連結会計年度の利益配当につきましては、この基本方針に基づき、年間配当金は、184円45銭を1株当たり当期純利益とみなし、連結配当性向25%の46円50銭となります。中間配当金として23円00銭を既の実施していますので、期末配当金については8月10日公表の配当予想通り23円50銭となります。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	23円00銭	23円50銭	46円50銭
前期実績	16円50銭	23円50銭	40円00銭

以上